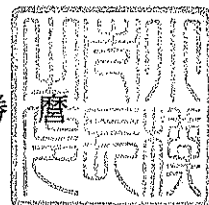


樽建庶第32号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

小樽市長 山田 勝



今後の道路施策等に係る意見

小樽市は後志・道央圏の交通結節点として機能の充実が求められており、地域間交流の円滑化や産業活動を振興し、さらには交通渋滞や災害時の代替ルート確保のため、広域交通網の整備が必要であることや、年間750万人の観光客が訪れる国内有数の観光地として知られていることから、歴史的まちなみを生かしたまちづくりが必要であるため、道路などの都市施設の充実を図る必要がある。

また、本市は、平地が少なく起伏に富んだ地形に加え、古くからまちなみが形成されたことから、道幅が狭く、急坂な道路が多いため、道路の拡幅や線形改良、歩道設置などの整備が必要である。

一方、本市は多雪地域でもあることから、急坂・狭隘な道路において市民が安全で快適な生活を送るため、除排雪体制の充実を図ることが重要な取組みとなっている。

これらの状況を踏まえ、今後の道路施策については、重点化、効率化を進め、道路施設等の老朽施設の更新を含めた整備、維持管理や景観を含めた道路環境づくりの推進のために必要な財源を安定的に確保することが不可欠である。

1 広域交通ネットワークの確立

小樽市はもとより後志管内は、雄大な自然や豊富な地域資源に恵まれており、物流の促進やこれらの魅力を活かして観光客の増加などにより、後志管内の経済活性化が図られることから、高速道路、国道、道道等の着実な整備を進め、安全・円滑な広域交通網の充実を図ることは極めて重要な事業である。

- ・北海道は、広域分散社会であり、都市間距離が長いことから広域交通ネットワークの確立は、物流の促進や防災、医療などの緊急的な部分においても重要な役割を果たしている。災害時における国道、高速道路、道道、市町村道のネットワーク化を図り緊急時に対応する。
- ・国土開発幹線自動車（国幹道）基本計画路線の整備を推進する。
- ・経済成長が著しい東アジア圏各国からの国際観光を振興するため、北海道内の都市間交通ネットワークの整備を図るとともに、標識・看板等の多言語表示を進め、

外国人観光客が安全で快適な観光ができるよう多様な情報提供を行う。

- ・札幌、小樽、余市間の高速道路の利用促進が小樽観光の更なる振興や、黒松内～余市間の整備につながることから、高速道路の料金についてはより一層弾力的な運用を図ることが重要。

2 市道・生活関連道路の整備

本市は、まちなみ形成に合わせてできた生活道路や高度成長期に建設された道路、橋りょうなどの社会資本が経年により老朽化している。これら施設の改修は本市財政にとって大きな負担となっており、計画的な改修を行い、交通への影響を最小限に止めるとともに、社会資本整備により延命を図り、ライフサイクルコストを抑制する必要がある。

- ・高度経済成長期に建設された道路施設等の既存ストックの有効活用を図るため改修・修繕への重点的な予算の配分を行う。
- ・自治体の自主性・裁量性が活かされる「地方道路整備臨時交付金制度」の存続、拡大が図られるよう務める。
- ・臨時市道整備事業などの起債により進める生活道路の改良事業に対する補助制度を創設するとともに財源措置を図る。

3 道路環境づくりの推進

都市内道路については、いまだ十分な整備が進められていない状況にあるが、幹線道路や生活関連道路は、市民の暮らしを支える一方、災害時の避難路としての役割を果すことから、今後も道路の拡幅や線形改良などの整備を進め、安全で円滑な市内交通の確保を図るとともに、良好な市街地形成を誘導し、都市機能を高めることが必要である。

特に歩行者の安全性や快適性に配慮した歩道、道路照明や街路樹等、都市防災の向上や景観へ配慮した整備を行うとともに、高齢者や子ども、障害者などが安心して通行できるような交通環境の整備を図る必要がある。

- ・都市部・観光地における円滑な交通を確保するため、駐車場の整備を進める。
- ・交通事故多発地点における道路構造の改善などを検討するなどの交通安全対策への十分な配慮を行う。
- ・高齢者や子ども、障害者などの交通弱者の歩行空間を確保するため、バリアフリー化事業の推進
- ・安全・安心な歩行空間を確保するため、歩車分離型信号機、弱者感応式信号機の新設及び移行等、交通安全施設の整備・充実を図る予算の確保

4 冬期間における円滑な交通の確保

積雪寒冷地、豪雪地帯である本市において、冬期間の円滑な交通の確保は快適な市民の暮らしや活発な経済活動を営む上で、極めて重要であると認識している。

特に冬期間の交通渋滞、また郊外部における視程障害等による通行止めは経済活動の停滞を招く等、本市の経済損失は甚大なものであると考えられる。

そのため、都市部におけるツルツル路面对策、郊外部の吹雪対策等を図るため、除雪の強化、防雪施設整備等のハード面の対策、道路利用者への速やかな情報提供等のソフト面の充実を図っていく必要がある。

- ・高規格道路の役割のひとつである緊急輸送ルートの確立を図るため、降雪時における札幌自動車道の通行止めを防ぐ除雪・防雪対策の充実
- ・急坂な地形や市道も含めた交通重要幹線の冬期交通安全確保と円滑化を図るため除排雪、防雪、凍雪害防止事業など雪寒対策事業の促進
- ・ロードヒーティング整備（更新）にかかる補助率の引き上げや維持管理に対する国費導入にかかる財源措置

5 景観を活かした道路施設等の整備

北海道固有の景観、自然、歴史、文化など地域資源を最大限に活用した美しく個性豊かな道路景観を創出することは、活力ある地域づくり及び魅力ある観光空間づくりにも寄与している。

魅力あるまちなみを形成するため、景観に配慮した道路の整備や電線の地中化などにより良好な景観形成の促進を図る必要がある。